

Face to Face



道の駅かさまでお待ちしています！

笠間市に住んでいる 外国人のお顔を拝見してお話をしてみました

笠間市に住んでいる外国人に登場してもらい、母国の文化、笠間市の地域の人との交流、異国での子育て、仕事のこと、将来の夢などを語ってもらいます。

笠間市在住の外国人

アンドリュー アイガルさん

出身地：アメリカ ウィスコンシン州 オレゴン
現住所：笠間市友部地区

I は国際交流協会の聞き手
F は外国人の声です。
では、さっそく始めましょう。

- I お忙しいところインタビューを受けていただきありがとうございます。アンドリューさんはどちらの出身ですか？
- F アメリカ・ウィスコンシン州のオレゴン出身です。アメリカでは「オレゴン出身です」というと、オレゴン州と思われるので、オレゴンタウンと言ひ換えます。
- I なるほど。日本人の私もオレゴンと聞いて、オレゴン州を思い浮かべました。
- F オレゴンは、人口が約1万人の小さなまちで、ウィスコンシン州の州都マディソンから車で約15分位の場所にあります。日本の皆さんからどのあたりがよく聞かれるので、シカゴの近くと答えると、「冬は寒いですね」と言われます。冬は湖が凍り、氷に穴をあけて小魚釣りで遊んだりすることもできます。ウィスコンシン州には小さな湖が一万個以上もあるんですよ。また、紅葉の時期は色づいた木々の景色がとてもきれいです。
- I 自然が豊かなところですね。秋は楓の紅葉もきれいでしょね。
- F はい。オレゴンは州都に近いのですが、自然が豊かで牧畜とトウモロコシ栽培が盛んです。まちを歩くと、あちこちで牛とトウモロコシ畑を見かけます。またアメリカには、「紅葉」という一つの言葉はなく、「木々の葉がきれいになる」と文にして、プリティーなどの形容詞で表現します。
- I 日本に来たきつかけはなんですか。
- F 大学1・2年生で日本語を勉強して、2017年の3年生の時、東京学芸大学に留学したのがきっかけです。留学先の東京で大都会の生活を経験して、一年後には母国の大学に戻りました。
- I では、今回は2度目の日本滞在ですか。



英語の絵本読み聞かせの様子



- F はい。大学を卒業したあと、どうしても日本へ戻りたくてJETプログラムに応募し、CIR国際交流員として日本に来ました。私は笠間市にきて3年目で、初年度は笠間市役所の市民活動課に派遣されて、市民の皆さんと交流し、今は「道の駅かさま」で働いています。初めは不安がありましたでしたが皆さんの温かい心に触れて、東京では体験できなかった笠間のすばらしさを知りました。
- I 笠間のすばらしさはどんなところですか。
- F 笠間は自然が豊かで農産物の生産が盛んです。秋には栗が実り、栗の季節にモンブランを食べて新栗まつりを楽しみ、美味しいお米がとれ、お米から美味しいお酒が造られます。東京にはない笠間のすばらしいところです。
- I オレゴンにも地元の美味しい食べ物がありますか。
- F チーズです。乳製品の製造業が盛んで、その中でもチーズは絶品です。周りのまちから、多くの人がチーズを買うためにオレゴンに来ます。笠間の栗と同じです。
- I 道の駅かさまに沢山の人が笠間の栗を求めて来てくれるのと同じですね。笠間の栗、オレゴンのチーズを材料にしたチーズケーキを将来作ってみたいですね。今日はありがとうございました。